

想い つなげる つむぎあう

2021 年は、大阪大学設立 90 周年、大阪外国語大学設立 100 周年、中之島再開発、箕面新キャンパスへの移転などといった大阪大学にとって記念すべき年であり、このスローガンは、そこに向けて今を生きる私たちの気概を表現しています。

「想い」には、懐徳堂、適塾といった原点、大阪帝国大学、大阪外国語学校設立の経緯、そこから今日までの発展を支えてこられた先達と伝統に敬意を払うことを表しています。

その想いをもった私たちは過去と現在と未来とを「つなげる」役割を担っています。と同時に、個々人のさまざまな「想い」を「つなげる」ことによって、想いは共鳴し、響きあって新たなハーモニーを作り出します。

現在は、変革の時代であり、構成員それぞれが置かれた立場で、志をもって事に当たる必要があります。そのためには、個人での頑張りに加え、互いに協力し支えあうことが欠かせません。未来志向で互いが影響し合い、まさに協奏する様を「つむぎあう」と表現しました。

今回のフレーズは、80 周年記念事業のスローガンである「原点へ・未来へ」のオマージュであり、なおかつ「つなげる」には共創、「つむぎあう」には協奏の意味も包含させ、大阪大学が 90 周年に向けて進むべき道筋を示しています。

また、3 節に区切り、それぞれの言葉を 3 音、4 音、5 音とリズムを重視したコピーとし、構成員に親しみやすく、覚えやすくしました。このリズムは、企業のキャッチフレーズでも良く使われるもので、フレーズは異なりますが、すっと心に入ってくる感覚を生み出します。

大阪大学を 100 周年、その次の 100 年、さらにずっとその先の未来にもつなげていくために、伝統に敬意を払い、変革をおそれず未来に向かっていく私たち構成員の姿勢を表現したスローガンです。